

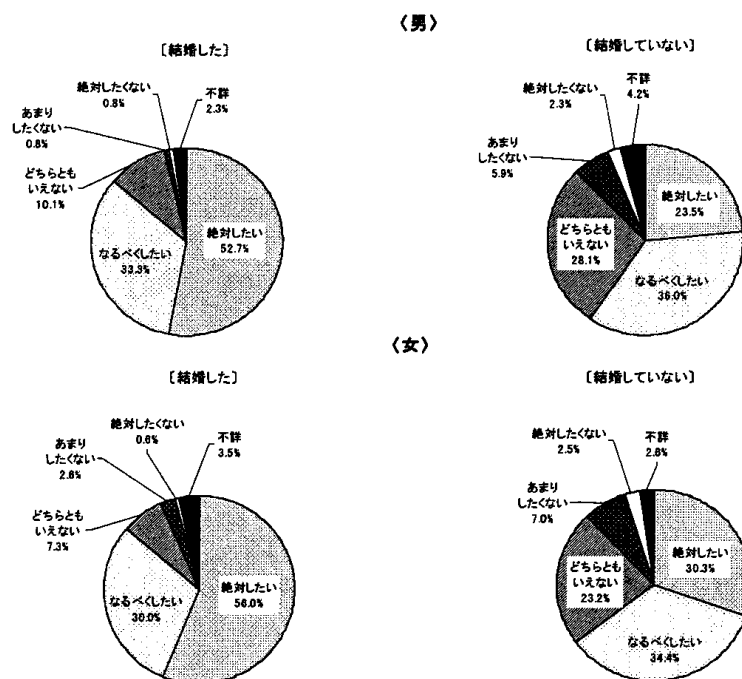
第2回21世紀成年者縦断調査 (国民の生活に関する継続調査) 結果の概況要旨

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課国民生活基礎調査室
電話03-5253-1111(内線7592)
03-3595-2974(ダイヤル)

結婚・子どもをもつ意欲と結婚・出生の状況

(1) 結婚

この1年間に結婚した者の半数以上(男性の52.7%、女性の56.0%)は、1年前結婚を「絶対したい」と考えていた。(概況3頁)



(2) 出生

1年前、夫、妻ともに子どもが「ほしい」と考えていた夫婦の23.1%に、この1年間で子どもが生まれた。(概況8頁)

(単位: %)

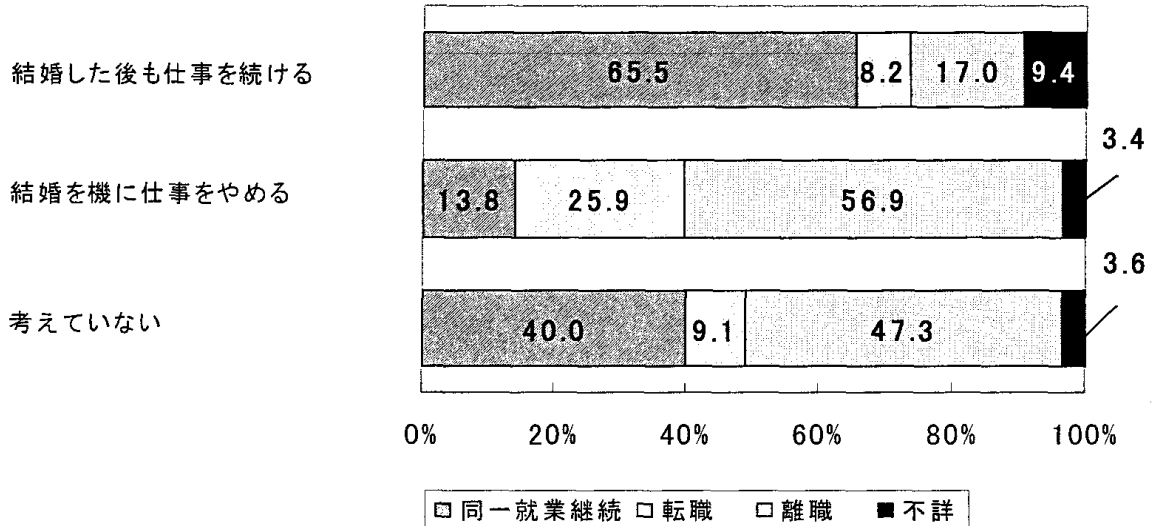
		1年前の妻の子どもをもつ意欲		
		ほしい	どちらともいえない	ほしくない
1年前の夫、妻ともに子どもを1年間もつ意欲の状況	ほしい	100.0	100.0	100.0
	出生あり	23.1	9.3	4.1
	出生なし	76.9	90.7	95.9
	どちらともいえない	100.0	100.0	100.0
	出生あり	12.7	5.0	3.1
	出生なし	87.3	95.0	96.9
ほしくない	出生あり	100.0	100.0	100.0
	出生あり	6.9	5.5	3.0
	出生なし	93.1	94.5	97.0

就業継続意欲と就業状況の変化

(1) 1年前に仕事ありでこの1年間に「結婚した女性」

1年前に「結婚した後も仕事を続ける」との意欲をもっていた女性の65.5%は同一就業継続。

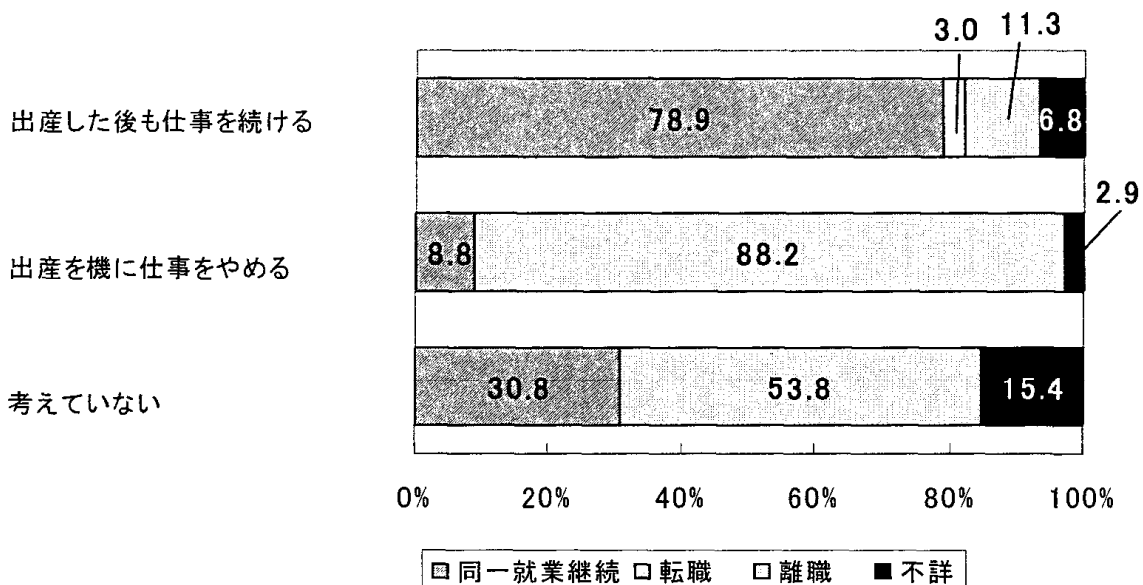
(概況5、6頁)



(2) 1年前に仕事ありでこの1年間に「出産した妻」

1年前に「出産した後も仕事を続ける」との意欲をもっていた妻の78.9%は同一就業継続。

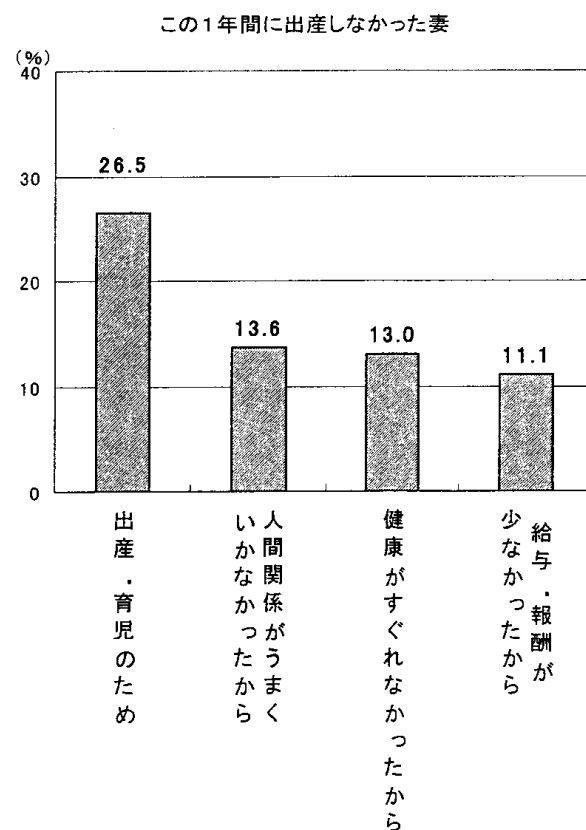
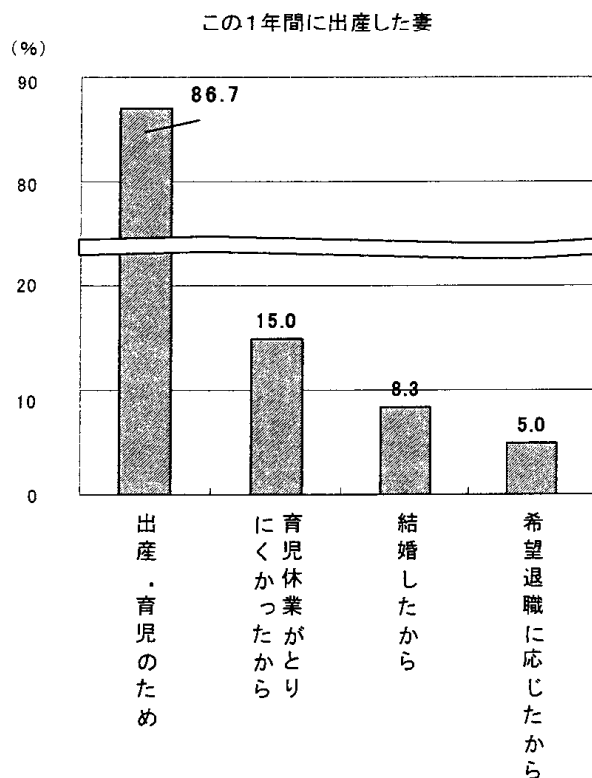
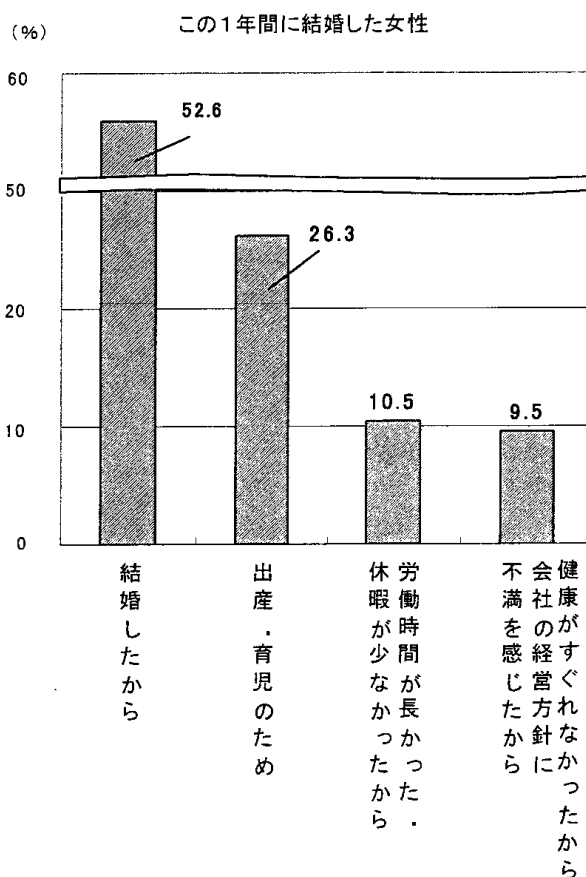
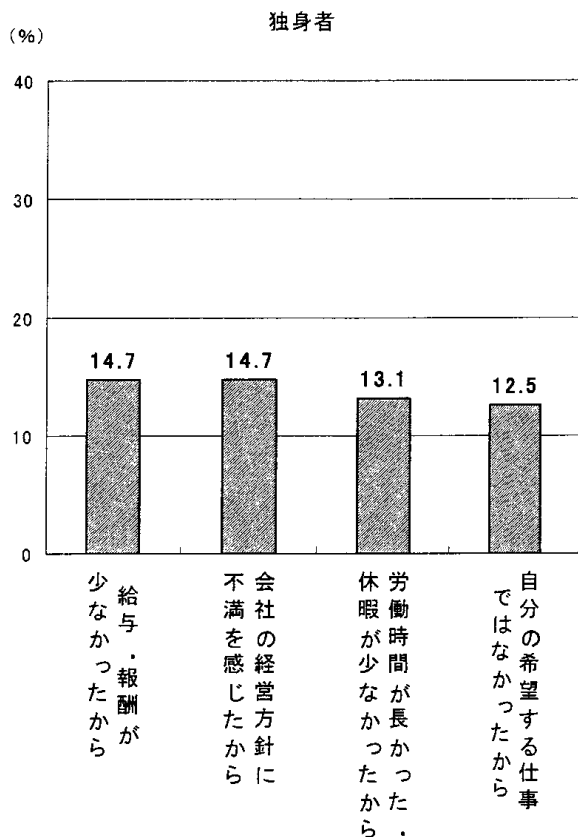
(概況11、12頁)



1年前の仕事を離職した女性の退職理由

結婚した女性は「結婚したから」が52.6%、出産した女性は「出産・育児のため」が86.7%。(複数回答)

(概況18頁)



調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成14年を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成14年10月末時点で20～34歳であった全国の男女(及びその配偶者)を対象とし、そのうち、第1回調査において協力を得られた者等(及びその配偶者)を客体とした。

3 調査の実施日

平成15年11月 5日(水)

4 調査の事項

結婚の状況、出生の状況、就業の状況、退職理由等

5 集計客体

調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりであった。

なお、本概況における集計客体数とは、第1回調査、第2回調査ともに集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
女性票	14,874	12,483	11,920
男性票	14,809	11,910	11,244
配偶者票(女性用)	515	484	443
配偶者票(男性用)	1,778	1,631	1,560
計	31,976	26,508	25,167